

ベビーシッター資格認定制度について

制度：ベビーシッターの専門性を高めるために、「認定ベビーシッター」資格を付与する資格認定制度。
公益財団法人全国保育サービス協会が実施

取得方法：①協会が実施する2つの研修会（新任研修会、現任Ⅰ研修会）を受講し、修了。
その後、ベビーシッターとしての実務経験をもち、認定試験を受験。
②保育士の資格を取得した者であり、「認定ベビーシッター資格取得指定校」として協会が指定した
保育士養成施設において「在宅保育」の科目を履修（科目等履修も可）。

新任研修会

- ・目的：ベビーシッターとしての基本的知識全般を身につける
- ・期間：2日半

研修科目	研修内容	時間
児童家庭福祉	①児童家庭福祉総論 ②わが国の保育制度と保育サービス	90分
ベビーシッターの使命と役割Ⅰ	①児童家庭福祉における家庭訪問保育 ②家庭訪問保育の社会的背景、役割、歴史 ③家庭訪問保育の現状	60分
ベビーシッターの使命と役割Ⅱ	①家庭訪問保育者の基本姿勢 ②家庭訪問保育の仕事の流れ ③家庭訪問保育者としての持ち物 ④家庭訪問保育者としてのマナー ⑤事件・災害時の対策	60分

研修科目	研修内容	時間
保育マインド I	①子どもの心の発達と相互作用 ②子どもの育ちと大人の役割 ③生きる喜びと意欲	60分
子どもの発達 I	①子どもとは ②小児期の区分 ③子どもの成長 ④発達についての理解	60分
子どもの健康管理 I	①健康管理上の留意点 ②子どもにみられる病気 ③子どもに多く見られる症状と家庭のケア	60分
事故・安全 I	①子どもの事故 ②事故の回避・チェックポイント ③緊急時の対応	60分
保育技術 I	①年齢別の特徴に応じたかかわり方 ②生活の援助 ③乳幼児の栄養と食事 ④食育について ⑤家庭訪問保育における食事のお世話 ⑥ほめ方・叱り方	120分
家族とのコミュニケーション	①家庭における子育て支援の必要性 ②家族とのコミュニケーション	60分
ディスカッション	テーマ ・子どもにとってよいベビーシッターとは ・保護者との上手なコミュニケーションのとり方とは	120分
レポート(400字)	テーマ「私はこんなベビーシッターになりたい」	

現任 I 研修会

・目的: ベビーシッターとしての専門的知識及び技術を身につける

・期間: 3日

研修科目	研修内容	時間
ベビーシッターの使命と役割Ⅲ	①家庭訪問保育の有効性と課題 ②さまざまな家庭訪問保育 ③リスクマネジメントと損害賠償 ④事業者とコーディネーターの役割	120分
保育マインドⅡ	①保育マインドの意義 ②子どもに眼を向け、心を向ける ③課題: 保育マインドの視点から考える家庭訪問保育	60分
子どもの発達Ⅱ	①子どもの発達の概要 ②障害のある子どもの発達	90分
子どもの健康管理Ⅱ	①病気への対応と保育 ②家庭訪問保育における注意点 ③感染症 ④予防接種	90分
事故・安全Ⅱ ～実演・実習	①事故の対処法 ②心肺蘇生法(人形による全員実習)	180分
保育技術Ⅱ	①あそび ②年齢別の特徴に応じたあそび ③絵本	180分
ファミリーサポート	①さまざまな家庭における家族とのかかわり方 ②家庭訪問保育における子育てアドバイス	90分

研修科目	研修内容	時間
ディスカッション	テーマ ・ベビーシッターに求められるプロ意識について	120分
レポート(800字)	テーマ「ベビーシッターの使命と役割～私はこう考える」	

保育士養成施設における履修(「在宅保育」の履修)

講義、2単位(90分15コマ)

- | | |
|--|--|
| 1) 児童家庭福祉における在宅保育
2) ベビーシッター概論
3) 在宅保育における保育マインド
4) 在宅での子育て支援
5) 家族とのコミュニケーション・カウンセリングマインド
6) さまざまなベビーシッターサービス
① 産後ケア
② 病後児保育、障害児保育
③ 送迎保育、同行保育
④ 多胎児(双生児)保育
⑤ 外国の子どもの保育、グループ保育、学童保育 | 7) ベビーシッターの基本姿勢
8) ベビーシッターの仕事の実際
9) 小児保健と子どもの発達
10) 子どもの健康管理
11) 在宅での事故の予防と対応
12) 在宅における保育技術(年齢別保育、栄養、睡眠、排泄、入浴など)
① 乳児保育
② 幼児保育 |
|--|--|